



ゆづりは

堺市立図書館だより

第5巻 第1号 (通巻15号)
 発行日 平成22年6月10日
 編集・発行 堺市立中央図書館
 〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1
 電話 072(244)3811
 Fax 072(244)3321
 URL <http://www.lib-sakai.jp/>

じゃあ、読もう。図書館へ行こう！

～国民読書年記念事業の実施～



2010年は国民読書年です。この取り組みをきっかけに、本や読書への親しみをいただけるよう、市内の各図書館では、さまざまなイベントを行っていきます。本を読むのがどうも苦手だという方、図書館に行ったことがないという方ももちろん大歓迎。まず一度、気軽な気持ちで図書館に来てみませんか？

●「私をささえた一冊」募集

今までの人生で悩んだ時やつらい時、一冊の本によってささえられたこと、勇気づけられたことはありませんか。たった一行の言葉でも結構です。ぜひ教えてください。いただいた応募原稿は選考の上、秋頃に冊子にする予定です。

また、紹介された本のブックフェアも同時期に開催します。

テーマ	子育て、介護、闘病、進路、別れ から1つを選択
募集期間	平成22年5月18日(火)～6月30日(水)
応募内容	選択したテーマ、書名、著者名、出版社、本にまつわるエピソード(200字以内)
応募用紙	市内各図書館に設置。 図書館ホームページからダウンロードも可能。 (http://www.lib-sakai.jp/)
応募方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応募箱に投函(市内各図書館に設置) ・ 郵送 〒593-8325 堺市西区鳳南町4丁444-1 堺市立西図書館「私をささえた一冊」係 ・ FAX 072-271-3002 ・ 電子メール nishito@city.sakai.lg.jp



●今後の予定

自分史講座(10～12月頃)、図書館利用講座、本や読書をテーマとした講演会、大人のための朗読会、情報のバリアフリーについて考える講座などを開催します。広報さかい、館内チラシ・ポスター、図書館ホームページなどで随時お知らせいたします。どうぞお楽しみに！

目次

じゃあ、読もう。図書館へ行こう！ ……1

シリーズ堺の〇〇
「堺の人物 神南辺道心」 ……2

堺かるた
いろはの「る」 ……2

この本で解決！
～スポーツものしりメモ～ ……3

困ったときには相談してみてください ……3

司書のイチ押し！
『くまとやまねこ』 ……4

大型絵本と書架の贈りもの ……4

堺市立図書館電話番号一覧 ……4

ゆづりは

とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

「年ごとに ゆづりゆづりて 譲り葉の ゆづりしあとに また新しく」
この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。

(河井醉茗氏については、「ゆづりは」通巻第1号にご紹介しています。)



●国民読書年とは

2008年6月、国会による「国民読書年に関する決議」で、2010年を国民読書年とし、読書への意識を高めるため国をあげて読書を推進することが宣言されました。読書に親しむ場所、本と触れ合う場所として、どうぞ図書館をご活用ください。

シリーズ 堺の〇〇 (かなべ どうしん)
「堺の人物 神南辺道心」

神南辺道心は江戸時代の人で、俗名を弥兵衛と称し、酒の爛をするための鍋を作ることに優れていたもので、「爛鍋弥兵衛」と呼ばれていました。優れた技術を持っていたものの素行が悪く、40歳すぎまで無頼漢として悪名を馳せていました。

しかし、出家していた息子の涙ながらの諫言に心を動かされ、仏門に入って社会福祉に尽力しようと決意します。諸国を行脚して施しを受け、神社仏閣の手洗い石や百度石を寄進、大阪・堺・河内・大和・紀伊などの街道に、数多くの地藏尊・道標を造立しました。京都の御室八十八カ所の標石を復旧し、御室御所から拝謁を許されて御盃を賜り、「神南辺」の姓と「道心」の号を与えられました。

息子が堺の旭蓮社(ぎょくれんじゃ)(大阿弥陀経寺内)にいたので、晩年はその近くに住み、天保12(1841)年2月20日に入寂したと伝えられています。墓は大阿弥陀経寺(堺区寺地町東4丁)の境内にあり、そこには石造りの大きな地藏菩薩坐像が据えられています。台座正面に「神南辺大道心墳」と刻まれています。

市内の神南辺町や神南辺橋という名前の由来は、そのあたりに神南辺道心が住んでいたからという話が『地名あれこれ堺の歴史探索』(堺商工会議所)に載っています。

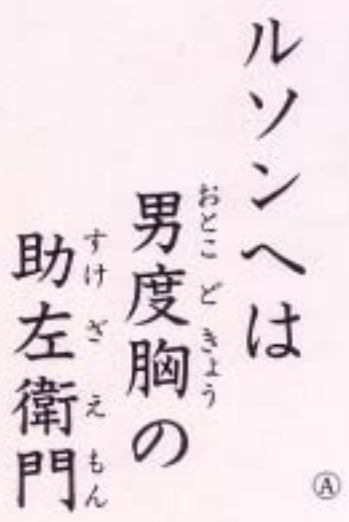
参考文献／『堺市史』第7巻、『羽曳野市史』第7巻、『本朝蘆山旭蓮社今と昔』(旭蓮社)、『堺春秋』4号(堺春秋発行所)、『竹内街道の道しるべ』(太子町立竹内街道歴史資料館)、『泉州文化資料』61号(和泉郷土史研究会)、『地名あれこれ堺の歴史探索』(堺商工会議所)



(写真上) 地藏菩薩坐像

(写真下) 大阿弥陀経寺旭蓮社南門

堺かるた - いろはの「る」 「ルソンへは男度胸の助左衛門」



鎖国以前は「日本一の貿易港」として栄えていた堺。商人たちは、来航するヨーロッパ人と取引するだけでなく、自ら船に乗って東南アジアまで貿易に出かけたりもしました。なかでも有名なのが納屋(なや)助左衛門です。たびたびルソン(今のフィリピン)まで赴き、大きな利益を得ていたため、呂宋(ルソン)助左衛門とも呼ばれました。往年のNHK大河ドラマ『黄金の日』(原作は城山三郎)の主人公にもなりました。

<参考文献> 「呂宋助左衛門」(成美堂出版)、「むかしの堺」(はとびえ会)

この本で解決！ ～スポーツものしりメモ～

サッカーのワールドカップが開催されています。そこで、スポーツに関連する質問をあつめました。

サッカーボールの作り方が知りたい。

この質問は、まだサッカーボールの形が亀甲模様（黒の正五角形の柄が印象的なタイプ）だったころに受けたものです。作り方、といっても縫い方のようなものではなく、図形の展開図が必要だったことでした。『自然にひそむ数学』（佐藤修一／講談社）にはその展開図が掲載されています。これをみると、このころのサッカーボールは正五角形12枚と正六角形20枚で構成されています。思っていたよりもたくさん気がしませんか？

『ボールのひみつ』（新星出版社）には、サッカーボールのデザインの変遷や、2006年ドイツワールドカップや北京オリンピックで使われた14枚のパネルを熱接合したボールについて、わかりやすく解説されています。



（答＝ISL：アイスランド ISR：イスラエル）

ワールドカップやオリンピックで使われる国名の略号の一覧がみたい。

オリンピックのテレビ中継などをみていると、参加選手の一覧などで名前の後ろに国旗とアルファベット3文字でその選手の国が表示されていますね。あのアルファベット3文字は国際オリンピック委員会が決めた略号です。日本ならJPNですが、他の国はどうでしょうか。例えば「ISL」「ISR」はイスラエルとアイスランドの略号ですが、どちらがどちらでしょう？

（正解は下に）

『世界の国旗と国章大図鑑』（平凡社）には国の名前と略号の一覧があり、205の国と地域の略号がわかります。子ども用の本の『オリンピック絵事典』（PHP研究所）にもものっています。

困ったときには相談してみてください・・・

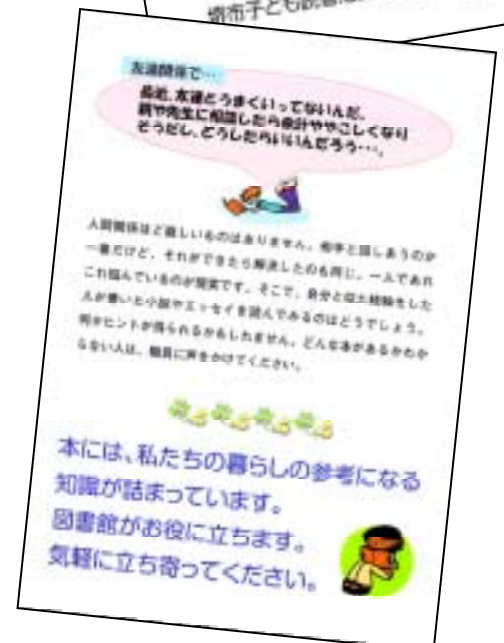
～忙しい（悩み多い）中学生のために～

子ども読書活動推進事業の一環として、平成19年度より4月23日の「子ども読書の日」に合わせ、小学校と中学校の新入生にリーフレットを配っています。中学生になると、勉強や部活で忙しくなり、図書館から足が遠のきがちです。でもスポーツがうまくなりたいとか、友だちづきあいの悩みとか、図書館で解決の糸口を発見できることもあるかもしれません。

図書館おすすめの本を集めたリストとして、中学生には「ページをめくれば」、高校生には「おもしろBOOKS探偵帖」を発行しています。リストに載っている本は図書館ホームページ（<http://www.lib-sakai.jp/>）から予約することもできます。

美原図書館には、進路進学に関する本、趣味やスポーツに関する本、ノンフィクションや小説など、十代向けの本を集めた「ティーンズエリア」というコーナーがあります。また、中高生向けの新刊紹介誌を年に4回発行しています。

図書館を上手に利用して、充実した学生生活をお過ごしください。



司書のイチ押し！

『くまとやまねこ』 湯本香樹実／ぶん 酒井駒子／え 河出書房新社

ペットロスという言葉を目にすることがあります。飼っていたペットを失うことで「人によっては、ペットの死が人の死よりつらい体験になる場合もある」「悲しみと向き合い、のりこえていくために社会的な支援が必要」（『ペットロス』新潮社）といわれています。

図書館には、飼い主の体験談を始め、心理学者や獣医など専門家による本がありますが、私がおすすめするのは、『くまとやまねこ』という絵本です。

物語は、「ある朝、くまはなっていました。なかよしのことりが、しんでしまったのです。」の一文で始まります。

くまは、ことりを前にして、うつむいています。くまには、ことりがちょっとひるねしているみたいに思

えたのです。だから、小さな箱を作って、ことりを入れて、その箱を持ち歩くようになりました。悲しい日々を過ごしているくまでしたが、ある日、やまねこに出会います。やまねこのバイオリンの音色は、ことりとの楽しい思い出を、呼び覚ましてくれたのでした。

後半に入り、それまでモノトーンだったページに、赤い色がつきました。くまの心を表しているのでしょうか。

私がこの絵本に惹かれるのは、子どもころ、文鳥やインコや十姉妹といった小鳥とのお別れを、何度か経験したからかもしれません。

『ねえ、マリモ』（やまだけいた／文・講談社）は、一緒に暮らした犬とのお別れの話です。『くまとやまねこ』の後には、ぜひこの絵本を手にとってみてください。

(K)

堺市立図書館では国民読書年の今年「私をささえた1冊」を募集しています。

こんな本、こんな言葉に勇気づけられた、慰められたというあなたのイチ押しを教えてください。

→応募要項は1ページをご覧ください

大型絵本と書架の贈りもの

堺東南ロータリークラブから（東図書館）



このたび、堺東南ロータリークラブ(中川優会長)より、同クラブの創立40周年を記念して、『おおはくちょうのそら』など大型絵本15冊と大型絵本書架2台を、東図書館にご寄贈いただきました。大型絵本は、昔から読みつかれている人気の絵本

が元になっています。普通の絵本サイズの約2倍の大きさがあるため、迫力があり、おはなし会や地域の催し物など、子どもたちにとっても喜ばれています。貸出もできますので、どうぞご利用ください。

堺市立図書館

電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415
中央図書館	244-3811
くすのき号	244-3811
堺市駅前分館	222-0140
中図書館	270-8140
東百舌鳥分館	234-9600
東図書館	235-1345
初芝分館	286-0071
西図書館	271-2032
南図書館	294-0123
梅分館	296-0025
美木多分館	296-2111
北図書館	258-6850
美原図書館	369-1166
人権ふれあいセンター 図書ホール	245-2534
青少年センター 図書室	228-6331

行政資料番号 1-K3-10-0125